



2021年8月31日

各位

会社名 サンバイオ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森 敬太
 (コード番号:4592 東証マザーズ)
 問い合わせ先 執行役員経営管理部長 角谷 芳広
 (TEL.03-6264-3481)

株式会社三菱UFJ銀行とのコミットメントライン契約の締結について

当社は、株式会社三菱UFJ銀行と2018年11月に締結したコミットメントラインの契約について、2021年11月に期限が到来し当該契約が終了するため、新たなコミットメントラインの契約を締結したことについて、お知らせします。

記

株式会社三菱UFJ銀行との当該契約の終了と新たな契約の概要は以下のとおりです。新たな契約による資金使途は、日本におけるSB623外傷性脳損傷プログラムの市販後の製造・物流・販売体制構築に係る費用に充てる予定です。なお、このコミットメントラインからの資金は、当該プログラムの承認申請をもって利用が可能となります。

2021年11月30日に終了する株式会社三菱UFJ銀行との契約

調達形態	調達額 (うち、借入実行残高)	契約締結日	コミットメント期日 (返済期日)	摘要
コミットメントライン	20億円 (7億円)	2018年11月	2021年11月 (2021年11月)	-

2021年8月31日に新たに締結した株式会社三菱UFJ銀行との契約

調達形態	調達額 (うち、借入実行額)	契約締結日	コミットメント期日 (返済期日)	摘要
コミットメントライン	20億円 (-億円)	2021年8月	2024年11月 (2024年11月)	(主な借入実行条件)コミットメントは、2021年11月30日より開始し、借入は、国内SB623外傷性脳損傷プログラムの再生医療等製品の承認申請をもって利用可能となります。

なお、本件による当社グループの2022年1月期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上

(ご参考)

資金調達概要

<2021年1月期>

契約先	調達形態	調達額	契約締結日 (又は承認日)	資金使途
みずほ銀行	延長オプション付 コミットメントライン	20 億円	2020 年 12 月	・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築
みずほ銀行	コミットメント期限付 タームローン	26 億円	2020 年 12 月	・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築
		合計 46 億円		

<2020 年1月期>

契約先	調達形態	調達額	契約締結日 (又は承認日)	資金使途
	エクイティ・ファイ ナンス (ABB: Accelerated Book Building)	71 億円		・欧米市場での需要拡大を見据え 量産化能力向上のための製造 委託企業の複線化 ・日本における慢性期外傷性脳 損傷用途 SB623 の在庫生産

<2019 年1月期>

契約先	調達形態	調達額	契約締結日 (又は承認日)	資金使途
みずほ銀行	コミットメントライ ン	20 億円	2018 年 12 月 注1	・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築
三菱 UFJ 銀行	コミットメントライ ン	20 億円	2018 年 11 月	・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築
三井住友銀行	コミットメントライ ン	10 億円	2018 年 11 月	・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築
	エクイティ・ファイ ナンス (第三者割当に よる行使価額修 正条項付新株予 約権)	110 億円		・SB623 市販後の製造・物流・販売体制構築 ・日本での慢性期脳梗塞プログラムに係る開発及び SB623 の将来の 販売に向けた地域拡大のための研究開発 ・SB623 の新規適応拡大と新規物質の導入のための研究開発
		合計 160 億円		

<2018 年1月期>

契約先	調達形態	調達額	契約締結日 (又は承認日)	資金使途
三菱 UFJ 銀行注2	借入金	9 億円	2017 年 3 月	米国慢性期脳梗塞及び日米慢性期外傷性脳損傷
カリフォルニア州 再生医療機構 (CIRM)	補助金	19 百万米ドル	2017 年 6 月	米国慢性期脳梗塞
みずほ銀行	コミットメントライ ン	16 億円	2017 年 8 月 注1	日米慢性期外傷性脳損傷に対する予備資金
三菱 UFJ 銀行注2	コミットメントライ ン	5 億円	2017 年 10 月 注1	日米慢性期外傷性脳損傷に対する予備資金
		合計 50.9 億円		

<2017年1月期>

契約先	調達形態	調達額	契約締結日 (又は承認日)	資金使途
みずほ銀行	コミットメントライン	10億円	2016年3月 <small>注1</small>	日米慢性期外傷性脳損傷に対する予備資金

(注1)2021年8月31日現在において、これらの契約は期限到来により終了しています。

(注2)三菱UFJフィナンシャル・グループ内の機能別再編により、契約先が三菱UFJ信託銀行から三菱UFJ銀行に移管しています。

以上